

保育計画成果報告書

法人名等	学校法人 庄司学園
施設名	幼保連携型認定こども園 ねのしろいし幼稚園
報告者（役職）	庄司 昭博（園長）
住所・連絡先	宮城県仙台市泉区根白石字新坂上 29
	☎ 022-379-2376
	E-mail neyou@shojigakuen.ac.jp

○タイトル（保育計画）

10年後の自分と10年前の自分

○主な助成備品

築山・タイムカプセル・苗木

1. 保育計画策定の目的

幼稚園を卒園して約10年後（中学3年生）、成長した子ども達は、ちょうど義務教育期間を終える時期になります。幼児期から義務教育終了までの経験から、夢に向かって進む分岐点に立っている時期だと思います。就学前教育である幼児教育・保育は学びの原点となる経験であることから、幼児期に見た風景、におい、思ったこと、感じたことを同じ場所で思い出すこと、タイムカプセル開封式を計画して、自分自身の幼児期から今までを振り返り、その後を強い意志をもって夢を実現できる一人ひとりに成長してほしいとの思い、そして、意欲を高め大きくなってほしいという願いを込めて設定しました。

2. 具体的な実施内容

子ども達には、遊びを広げたり、あらたに生み出す創造力があります。既成の固定遊具においては安全面を最優先にすることからも、ある程度、遊び方、使用目的が決まっていることから、子ども達自身で遊びを広げることのできる築山を設置。園の全体風景が一望できる場所に築山を設置し、クラスで『植えてみたい木』という内容で希望を聞き、果実の苗木を植えるなど、意図的に自然環境を整えることで様々な場面を心に残してほしいと思い、以下の活動を計画・実践しました。

活動内容

令和3年度11月～築山設置工事開始

山を作り、中心に土管を埋設して、園舎を土管からも見えるように配置

「どんぐりやまと命名」

12月～ 植えたい苗木をクラスで決める（結果：ブルーベリー、みかんを選択）

1月～ 自由遊びの時間帯に子ども達で植樹

2月 全家庭に10年後の子ども達にメッセージ等を依頼（タイムカプセル封入）

卒園式前日 タイムカプセル封入式

具体的な活動

① ミクロの目を養う（年中・年長児）

- ・活動中に園庭散策を設定し、どんな風景や生き物がいたか聞いてみる（年長児）幼稚園地図を作り、みんなの見えるところに掲示し、行ってみたい、見てみたいを感じたり、新たな発見があった時には、書き足せるようにする。また、拡大カメラなどで様々な物をミクロの目で見られるような機会を作る。

② みんなで植えよう（令和3年度）

- ・クラスで植えたい果物の案を出し合い考える機会を作り、実際に苗木を準備して植える。（満3歳児クラスから5歳児クラス）
- ・タイムカプセル計画を立て、これから大きくなって、中学生くらいになったら、植えた果物の苗木のこと、園生活を振り返り、思い出す機会を設定する。

③ 夢ってなんだろう？（令和3年度）

- ・現在の年長児が中学3年生頃にタイムカプセルを開封し、植えた苗木のこと、一人ひとりの夢を聞き、将来へ意欲を持てるような機会を計画する。
- 以前タイムカプセルを埋めて、中学生になった時に開封をしたことがあり、予想をはるかに超えた子ども達が出席してくれました。卒園後、小学校進学、中学校進学、高校進学と、道に悩んだり、不安があったりする姿がある中で、幼児期に抱いた夢や今の思い、これからの自分と向き合う機会があることの大切さを感じました。社会に不安定要素が多い中にある今だからこそ、幼児期だけではなく、小さな役割でも支えになりたいと思っています。



高い山だね。どんぐりやまから『ヤッホー』



早く食べたいなあ。。。



タイムカプセルのネジをみんなで締めよう



卒園記念制作で看板を作りました。

3. その成果と評価

意図的に設置した環境が、子ども達の園生活にある一風景、一遊び場となったと思います。幼児期の風景として心の中に残り、10年後の開封式で子ども達の背中を押してあげられるようにと思っています。

4. 今後の課題と展望

園生活という就学前の限られた時間ですが、子ども達にとっては大きな出会い、大きな刺激のある期間であり、長い人生の土台となる大切な時期を過ごします。経験の中から、その時に思ったこと、感じたことがいっぱいあったと思います。10年後まで心の中に園生活が何となく形として残り、開封式の際にまた出会えたことを更なる成長へのエネルギーとしてほしいと思っています。

令和3年度活動としては、築山設置～タイムカプセル封入をおこない、子ども達にも関わる機会を増やしてきました。一方で、新型コロナウイルス感染症対策もあり、異年齢の関わりが少なく、(①ミクロの目を養う)園内地図まで実施はできませんでした。今後実践できるように、計画を見直していきたいと思っています。

○全体の実践計画から設置まで時期の問題や苗木植えの季節などもあることから、一部の当初計画は次年度以降の実施となりました。

以上